

機能設計仕様書 (Group18)

1029-28-9483 勝田 峻太郎

2018 年 5 月 10 日

設計したモジュール

設計したモジュールは以下

- p2
- Controller
- Alu(p3 で使われている)
- main(top level)

p2

コンポーネントの外部仕様

概要

このコンポーネントはレジスタを含む. このコンポーネントの基本的な動作としては, 命令を解釈すると同時に, 後続の p3 モジュールが必要とする値をレジスタから読み出す.

入力

このコンポーネントは, 入力として, 以下を受け取る.

clockp2 ID ステージ (命令デコードとレジスタフェッチ) を行うときのクロック.

clockp5 WB ステージ (レジスタ書き込み) を行う時のクロック.

clockp2 立ち上がり時に読む入力

command(16bit) p1 によって読み出された命令を入力とする.

clockp5 立ち上がり時に読む入力

writeflag レジスタに値を書き込むときは 1, 書き込まないときは 0 を入力.

writetarget(3bit) メモリから読んだ値を格納するレジスタの番号.(writeflag==1 のときのみ)

writeval(16bit) レジスタに書き込む値.(writeflag==1 のときのみ)

出力

alu1, alu2(16bit) 演算命令の場合,ALU が使用する値 2 つをレジスタや即値から取得する.

opcode(4bit) ALU で処理をする場合に, 行うべき演算を示している.

Table 1: 演算・停止・入出力コードの対応

code	計算
0000	$\text{in1} + \text{in2}$
0001	$\text{in1} - \text{in2}$
1000	$\text{in1} \& \text{in2}$ (bitwise)
1001	$\text{in1} \text{in2}$ (bitwise)
1010	$\text{in1} \ll \text{i2}$
1011	$\text{in1} \gg \text{in2}$
1100	入力
1101	出力
1111	停止

writereg(1bit) 演算または, ロード命令の場合, 結果をレジスタに書き込む必要がある. 書き込む場合は 1, 書き込まない場合は 0 である.

regaddress(3bit) writereg が 1 の場合, 書き込む対象となるレジスタの番号を示す.

memwrite(2bit) メモリに行う操作をコードで表す. 何もしない場合は 00, 読み込み時は 01, 書き込み時は 10 を示す.

address(16bit) メモリに操作をを行う場合, どの番地に行うかを示している.

storedata(16bit) メモリに書き込みを行う場合, 書き込む内容を示す.

内部仕様

入力として命令とクロックを受け取り, 出力レジスタに対して, クロックの立ち上がりとともに, 対応するデータを書き込む. 書き込む値は, 全て場合分け関数を持ちいて出力される.

クロック p2 立ち上がり時

- alu に入力するべき 2 つの値 (使用しない場合は未定義) をレジスタまたは即値から取得する.
- alu が必要とする opcode を供給する.
- 最後に結果をレジスタに書き込むかのフラグ, および書き込み先を指定する.
- メモリに対する動作 (書き込み, 読み出し, 何もしない) と書き込む場合は書き込む値を供給する.

clockp5 立ち上がり時

- 必要に応じてレジスタに書き込みを行う.

Controller.v

外部仕様

概要

今後パイプラインプロセッサに進化させる可能性のあるもの, 現状では, マルチサイクル方式のプロセッサであるため, 各モジュール (p1~p4) に対して適切なクロックを流す必要がある.

このために, このモジュールはクロックを受け取り, 各モジュールが適切なタイミングで処理をするように, generated clock を出力する.

また, 基板上のボタンによる処理の開始, 停止, 及びリセットを実現する.

入力

clock 供給されるクロック

execbutton テンキーボタンからの入力

出力

clock0 p1 に供給するクロック (IF)

clock1 p2 に供給するクロック (ID)

clock2 p3 に供給するクロック (EX)

clock3 p4 に供給するクロック (MEM)

clock4 p2 に供給するクロック (WB)

statusled(8bit) 7seg led 上に現在のプロセッサの状態 (実行中は'E', 停止中は'S') を出力する.

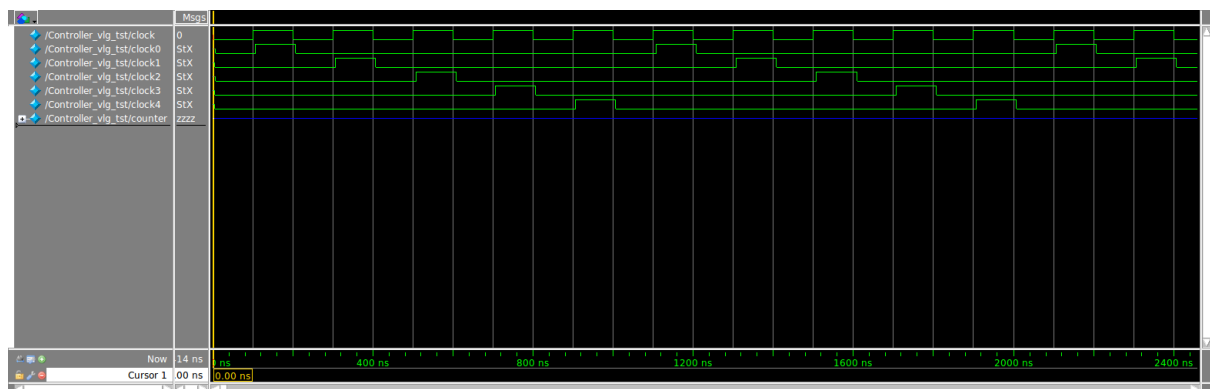


Figure 1: シミュレーション画像

コントローラーの入力と出力は,fig. 1 のようになる.

Alu

外部仕様

入力

in1, in2(16bit) 計算する 2 つの数
opcode(4bit) 行う演算を表す数 (tbl. 1 参照)

出力

result(16bit) 演算結果
v, z, c, s(1bit) 演算の条件コード (オーバーフロー, ゼロ, キャリー, サイン)

内部仕様

opcode による条件分岐により, 異なった計算を行い, 出力する.

main

外部仕様

クロックを入力とするプロセッサ.

内部仕様

main モジュールは, ブロック図で記述する.

構成は, 各 p1~p4 とコントローラーから出力されるクロックを適切に配線する.

fig. 2 中に見られる出力の一部は, シミュレーションによる動作確認のためのものである.

